

第397回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナーが開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

記

日時： 平成30年6月27日(水) 16:20~17:50

場所： 広島大学 総合科学部 J306教室

演題： クラゲの卵成熟誘起ホルモン

演者： 竹田 典代 氏
(東北大学・浅虫臨海実験所)

《講演要旨》

有性生殖によって次世代を生み出す多くの動物では、卵と精子が効率良く出会い受精する必要がある。そのため、卵と精子を時間的に同調して放出する仕組みをもっている。クラゲは光状態の変化により放卵・放精が引き起こされる。種により、暗期から明期、または明期から暗期の光状態の変化（以下“光刺激”とする）が引き金となる。光刺激を受けると、卵巣内の卵母細胞は減数分裂を再開し、減数分裂が完了した卵は、外胚葉上皮細胞を破り外界へ放出される。放卵後の卵巣には、今回放卵に至らなかった未成熟な卵母細胞が残っており、次の放卵（24時間後）までに成長し、次回の光刺激に応答して放卵する。私達は、このように、毎日規則正しく放卵するクラゲの放卵制御機構を明らかにすることを目標としている。本セミナーでは、最近明らかになったクラゲの卵成熟誘起ホルモン（神経ペプチド）について紹介する。

責任者 総合科学研究科・彦坂暁（内線 6567）

主催者 生物圏科学研究科・清水典明（内線 6528）

(注)生命科学共同セミナーを受講する生物圏科学研究科の院生は、特に積極的に参加してください。

(注)このセミナーは5研究科共同セミナーの一環として開催されます。

(注)このセミナーは総合科学演習または研究演習の一部として認められています。